

B 病棟

(回復期病棟)

病棟の特徴

当病棟は、急性期治療を終えた患者さんが、在宅復帰や社会復帰という「次の生活」を実現するための集中的なリハビリテーションを実施する場です。医師、看護師、リハビリスタッフ（PT・OT・ST）、薬剤師、栄養士、MSW など、多職種が目標を共有し、多角的に患者さんの未来を見据えた支援をしています。入院期間が数ヶ月に及ぶことから、病棟全体を「生活の場」として意識した環境づくりを徹底。訓練室でのリハビリに留まらず、食事、排泄、入浴といった日常生活のすべてをリハビリテーションとして捉え、生活に即した実践的な支援を重視しています。



看護体制

プライマリー・ナース方式を基盤とし、一人の患者さんに責任をもって看護計画を立案・実行。患者さんの「生活の再構築」に深く関わる、継続性のある看護を実践しています。

- 栄養管理、排泄ケア、基礎疾患管理といった身体面のケアに加え、患者さんの意欲や QOL に配慮した生活全般を支える看護を提供します。
- 定期的なカンファレンスで多職種と緊密に連携。患者さん・ご家族と共に退院後の生活を見据えた目標を調整し、チーム全体でその達成に向けて協働します。

教育体制

- 段階的なスキル習得：ラダー研修や OJT を通じて、慢性期・高齢者看護に必要な知識・技術に加え、リハビリテーション看護独自の視点を段階的に習得できるよう支援します。
- 「生活につなげる視点」：新人教育では、基礎技術に加え、日常生活の支援をリハビリにつなげる「臨床的な視点」の育成に注力しています。
- 他職種との合同学習：カンファレンスや症例検討会を多職種合同で定期開催し、医学的、社会的、リハビリテーション的な視点を統合した総合的なアセスメント力を磨いています。

取り組み

- **生活に彩りを添える活動**：季節を感じられる作品づくりや病棟行事を通じて、単なるリハビリだけでなく、入院生活に彩りと楽しさを添える活動を積極的に実施しています。
- **シームレスな退院支援**：退院支援カンファレンスの充実により、在宅復帰・施設移行がスムーズに進むよう、多職種が一丸となって生活環境調整までサポートしています。
- **リハビリと看護の融合**：リハビリスタッフと協働した「生活場面での練習」を推進し、患者さん一人ひとりのニーズと能力に合わせた実践的な支援**を実現しています。



アピールポイント

- **患者さんの「未来」を創る**：患者さんの生活の再構築に深くかかわることができるため、やりがいを感じられる看護を実践できます。
- **他職種チームの核心**：多職種連携が強く、チーム医療のプロセスや、看護師がチームの中心となって生活支援を推進する役割を学べます。
- **「寄り添いの看護」の追求**：急性期では得られない**長期入院ならではの「寄り添いの看護」**を実践し、患者さんの変化と成長を間近で見届けることができます。
- **安心のバックアップ体制**：院内に一般急性期病棟があるため、容体の変化にも迅速に対応できる安心の体制が整っています。
- **安心のバックアップ体制**：院内に一般急性期病棟があるため、容体の変化にも迅速に対応できる安心の体制が整っています。
- **退院支援のスペシャリストへ**：「生活支援」と「退院支援」の両面に関わる経験から、地域包括ケアにおける看護師の重要な役割を担うキャリアを築けます。

患者さんの人生に深く関わり、「その人らしい生活」を共に築いていく。

回復期リハビリテーション看護は、再び「生活者」として戻る道のりをつなぐ役割を担っています。